

答 本市の犬の登録件数、狂犬病予防注射実施率は、23年度4879頭、86・9%、24年度4825頭、85・9%、25年度4711頭、84・2%、電話等での犬・猫の苦情件数は、24年度44件、25年度25件だった。殺処分された犬・猫は、22年度犬65頭、猫69匹、23年度犬65頭、猫22匹、24年度犬38頭、猫62匹だった。

問 ドッグランの設置やペット同伴の旅行等、ペットに優しいまちづくりについて伺う。

答 市内の公園・緑地ではノーリード、ロングリードでの散歩は禁止しており、ドッグランの設置はされていない。

また、市内には、小型犬と飼い主が宿泊できる旅館が2施設ある。ペットが激しく吠えたり、物を傷つける等のトラブルがあるが、宿泊施設と飼い主が力を合わせてこうした問題を解決できれば、ペットと宿泊できる施設は今後増えていき、本市の観光にとって大きなマーケットになる可能性があるのではないかと考えている。

竹内滋泰（自由クラブ）

防災・減災対策について

問 救護所の設置、運営のために、地域と関係機関はどのような連携に取り組んでいるか。

答 市関係部局、医師会等関係者が集った会議で提案のあった大規模な災害発生を想定した救護所の設置等訓練を、6月26日に中部中学校で生徒も加わって実施する予定である。



中部中学校での医療救護所開設等訓練

国道247号中央バイパスの渋滞緩和について

問 蒲郡西IC、蒲郡IC供用開始後の交通量増加による三谷町伊与戸交差点の247号中央バイパスから豊橋方面に向かう南進車の渋滞対策について伺う。

答 交差点から北側に400mほど延びる区間の南進車線の2車線を県に検討してもらっている。

大塚金野線について

問 大塚金野線の見通しについて伺う。

答 今年度県において調査費が予算化され、概略設計を行う予定と聞いている。今後とも早期事業化に向けて県に働きかけていく。

大場康議（自由クラブ）

定住促進対策について

問 247号中央バイパスや県道豊岡三谷港線の

整備により利便性が向上した豊岡町上前田地区の開発のために、40年以上にも渡っている暫定用途の制限解除ができないか。

答 県との協議の結果を受けて、暫定用途解除への検討をしていきたいと考えている。また、4月に定住促進プロジェクトチームが提案した、暫定用途を解除するまでの期間において民間開発を促進するための奨励金交付の年度内実施に向け、作業を進めている。

市民病院の安定経営のための取り組みについて

問 平成24年度に新設された地域医療連携室の患者の紹介率及び逆紹介率の推移を伺う。

答 紹介率については、23年度25・9%、24年度28・4%、25年度39・3%、逆紹介率は、23年度17・1%、24年度19・4%、25年度34・8%となっている。両数値とも向上しており、かかりつけ医である地域の開業医と市民病院との機能分化、医療連携が進んでいる。

ることを示している。

鈴木貴晶（自由クラブ）

歳入確保の取り組みを

問 今年度から岡崎市では軽自動車税の納税通知書用封筒へ広告掲載をして歳入確保に努めているとのことだが、本市での納税通知書用の封筒への広告掲載実施について伺う。

答 既に今年3月から部内において検討を開始している。今後は平成27年度



地域医療連携を推進する市民病院